

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.27 Autumn 2013

アキアカネ

夏の間、山で生活していたアキアカネは、秋になって気温が低くなると平地に降りてきます。



写真：アキアカネ（撮影 山本征弘さん）



特集 海上の森はいま

平成 25 年度あいち海上の森大学の開校、講義開始

特集 海上の森調査結果報告書について

海上の森散歩 海上の森の紅葉スポット～三角点・物見山～



この人!

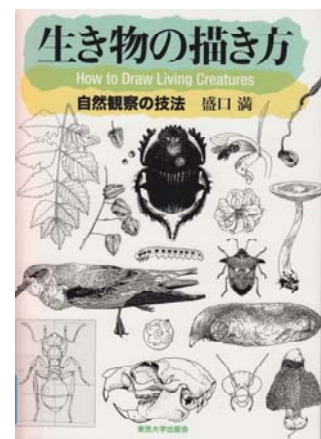
< (株)豊田自動織機班長会「海上の森を健全な森へ再生」>

(株)豊田自動織機 総務部社会貢献G担当課長 高柳一富さん

ライフライ新着図書を紹介します!

生き物の描き方～自然観察の技法～ 盛口 満

生き物を描くためには、その生き物をよく観察すること（よく知ること）が何よりも大切なことです。この本では、最初に生き物の観察をするための工夫、観察するときの注目点、そして観察する中で気付くことについて、著者独自の視点で記されています。中盤から終わりにかけては、実際に描くときのコツや、技法について詳しい解説が書かれています。そして、最後には、人と自然の関係について、著者の考えが述べられています。生き物だけではなく、自然についても知りたいという方におすすめの一冊です。





特集 海上の森はいま

海上の森大学が開校し、講義が始まりました！



平成25年7月7日（日）、愛知県立大学多目的ホールで、あいち海上の森大学の開校式が県及び市民関係者など約百名の参加を得て、盛大に行われました。

本年度は、森林再生・里山文化コース、国際交流コースに合わせて38名が受講。講座は「持続

可能な社会づくりに貢献しましょう！」をテーマに各分野の多彩な講師陣により実践につながる講座が来年1月まで開催されます。

式典の後、「私たちの社会の未来像に向けて～ヒマラヤの森と社会から学ぶ～」と題し、稲村哲也放送大学教授による記念講演が行われました。講演では、ヒマラヤの環境と社会から生み出されたGNH（国民総幸福量）という考え方を踏まえ、GNP優先でリスクが非常に高くなっている社会から、持続性を優先する社会への転換と複合型グリーンベルト創設の提言がなされ、これからの新たな取組につながる開校式に相応しい講演会となりました。

入校生の皆さんが、無事修了され、御活躍されることを期待します。

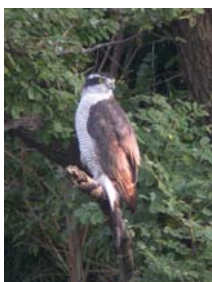


海上の森調査報告書について



海上の森を対象とした調査が本格的に始められたのは、平成5年頃からです。今年で、ちょうど20年目となります。始められた調査の目的とは別に、こうした調査の積み重ねが「海上の森調査報告第2号」となったわけです。第2号にある湿地調査報告は、平成23年度の第1号の続きで、第2号にある湿地ごとの変化が分かる植物相の表は、まさに積み重ねられた調査の結果といえます。

また、平成10年度からまとめられているオオタカ、ハチクマの経年的繁殖状況の表や前述の植物相の表を見ても、何と無く海上の森自体の変化が見えてくるように思われます。こうした森の変化を今年は自然林のモニタリング調査として取り組んでいます。どのように変化したのか、その実態を報告したいと今は考えています。



オオタカ



ハチクマ

海上の森散歩



海上の森のオススメ紅葉スポット

～物見の丘・三角点・物見山～

秋は紅葉の季節。夏に青々としていた木々の葉は赤や黄色、橙色に染まっていきます。

海上の森も色鮮やかにその風貌を一変させます。海上の森の美しい紅葉を観るには、やはりパノラマで観るのが一番でしょう。目の前に紅葉した木々が一面に広がる景色はとても魅力的です。そこで、海上の森の紅葉スポットとしてオススメなのが、海上の森を眺望できる物見の丘・三角点・物見山です。海上の森における無数の木々が作り上げる紅葉の美しいグラデーションを是非観に訪れてください。

特に、物見の丘は遊歩施設内の建物なので、センターから気軽に行くことができます。

物見の丘



所要時間

物見の丘（遊歩施設内）：センターから徒歩20分

三角点：入口駐車場から徒歩30分

物見山：入口駐車場から徒歩1時間



<(株)豊田自動織機班長会「海上の森を健全な森へ再生」>
 (株)豊田自動織機 総務部社会貢献C担当課長 高柳一富さん

当社は、2009年度より、あいち海上の森センターが進める『海上の森保全プロジェクト』に参画し、今年で5年目を迎えます。班長会（社内の製造部門に属する若手リーダー1700名で構成する自主組織）より、社会貢献活動の相談を受けたことをきっかけとして、この活動に取り組むことになりました。『豊田自動織機エコロ間伐活動』～エコの心を育てよう～と活動名を決め、2009年の覚書締結後、計238名が参加しております。当初は、活動に対する不安もあり、様々な問合わせがありました。海上の森センタースタッフの方々の丁寧なご指導のお陰で、重要性を理解しながら準備することができました。特に、間伐活動は危険を伴うため、安全上のポイントが多く、行動で覚えて厳守する必要がありました。幸いにもこれまでの活動では怪我も無く、社会貢献事務局として安心し

います。また、活動では、ノコギリ作業に苦戦していたようですが、木を切り倒した時は、一斉に歓声と拍手が上がります。樹齢30年を超える大木を切り倒した時の爽快さは癖になるようで、繰り返し参加される方も増えてきました。木々の間から日が差し込んだ時には、間伐活動の重要性を改めて再確認しました。

2011年度より、森林整備から得た間伐材を利用して、児童養護施設の子供たちに向けて『工作教室』を開催しています。当社は、モノづくりを生業にしていることから、子供たちにも「モノづくり」の楽しさとともに、自然保護の大切さを学んでもらっています。

これからも、海上の森を健全な森へ再生させるために保全活動を継続していきます。

<プロフィール> 高柳一富さん
 ご出身：宮崎県
 2009年9月に社会貢献活動推進部署に異動し、社会貢献活動の重点3分野（環境・社会福祉・青少年健全育成）を展開している。



センター職員の随想リレー
かたりべのひと言
 自然に囲まれた職場

4月からあいち海上の森センターにて勤務しております。社会人としての新しい生活からはや3ヶ月。今までの生活環境から大きく変わったこともあってか、あつという間に過ぎ去ってしまいました。まだまだわからないことも多くありますが、少しだけ仕事にも慣れ始め、ここ海上の森の自然を楽しむ余裕が出てきたのではないかと思います。

今まで森にあまり縁がなかった私にとって、センターでの勤務は驚くことばかりです。生まれて初めてホテルを見たときは、言葉にならないほど感動したことを覚えています。祖父母が当センターに訪れた際にも、「こんな良い場所があるなんて知らなかった」と非常に喜んでいました。

もっとたくさんの人に海上の森を訪れてもらい、森の良さを一つでも多く感じて帰っていただけたらと思っています。

(T・M)

森のなかま

ハチクマ

ハチクマは、カラスより大きく、トビより少し小さいタカ科の野鳥です。日本には北海道から九州にかけて、夏鳥として渡来します。ハチクマの飛んでいる姿を見ると翼から前に出ている頭部は他のタカ類より長く見えるのが特徴です。また、ハチクマは下面の色彩から淡色型と暗色型に分けられますが、実際には濃淡は様々で変化の大きな野鳥といえます。海上の森では、早いときは4月中下旬から観察されます。今年、5月上旬に観察されました。昨年、実施したハチクマの食痕調査ではスズメバチ類、アシナガバチ類の巣が回収されており、海上の森にはこうしたハチ類が多数生息していることが推測できます。



文・絵 SKI

第7回 人と自然の共生国際フォーラム

The 7th international Forum on Interrelationship between Nature and Human Beings

を開催します！

あいち海上の森センターが事務局を務め、2007年から毎年開催している「人と自然の共生国際フォーラム」。今年、「子どもたちとともに考えよう、人と自然の共生」をテーマに、特別講演に宇宙飛行士の毛利衛さんを迎え、10月12日（土）に愛・地球博記念公園内の地球市民交流センターで開催します。

午前中は、フォーラムの主旨に沿って活動を行っている6団体が活動発表を行う《アクション・プレゼンテーション》、そして参加者がグループに別れてこれからの行動について考える《グループディスカッション》を実施します。午後は、《開催の式典》ののち、毛利さんによる《特別講演》、そして映画「カンタ！ティモール」監督の広田奈津子さん、京都大学霊長類研究所のマイケル アラン ハフマンさん、中日新聞社主催「地球未来こども塾」に参加した

子どもたちが出演する《パネルディスカッション》が開催されます。

また、屋内広場や体育館には、活動団体や企業による活動体験ブースが並び、子どもも楽しみながら様々な体験ができる《市民のEXPO》が展開する予定です。

グループディスカッションは定員50名、特別講演は定員300名、そして交流会は定員50名（参加費¥3,000）で、いずれも事前申し込みが必要です。チラシもしくはホームページに掲載されている所定の様式に必要事項を記入していただき、はがき、ファックス、もしくはEメールでお申し込みください。皆様のご応募をお待ちしております！

海上の森体験学習プログラム



イベント名	開催日	定員	募集期間
森の楽校 ーふかふか森でつくって遊ぼうー	11/2（土）	50名	9/2 - 10/19
森の楽校 ーカラフル森でファッションショーー	12/1（日）	50名	10/1 - 11/17

対象：小学生以上、小学生は保護者同伴

《応募方法》
 官製はがき、FAXまたはE-mailに ①参加希望プログラム名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入し（応募者の住所等が異なる場合は全員分）、申込期限（当日消印有効）までに下記の申込先へお申し込み下さい。申込多数の場合は、抽選により決定し結果を通知します。

《申込先》
 NPO 法人 海上の森の会
 （〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1 「あいち海上の森センター」内「海上の森の会」事務局
 TEL/FAX: 0561-21-9298 E-mail: morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp）

編集後記
 まだまだ残暑で毎日暑い日々が続いており、秋の到来はまだ、ほど遠い感じがします。森の草木も虫もまだまだ元気いっぱい活動しています。是非、海上の森の豊かな自然に触れて来てください。

編集・発行 あいち海上の森センター（ムーアカデミー）
 発行日 平成25年9月6日
 〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1
 TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841
 E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp
 URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

